

別添

R7 年 4月 11日

就労継続支援A型事業所におけるスコア表(全体)

事業所名	就労継続支援A型事業所サスケ工房
住所	愛媛県新居浜市港町2番10号1階
電話番号	0897-37-8525

事業所番号	3810500540
管理者名	植田康隆
対象年度	R6年度

(I) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		40 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(IV) 支援力向上(※)		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15 点
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアソポーターの配置		
ピアソポーターを職員として配置している	○	
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている		
小計(注2)	5	点
(※)8項目の合計点に応じた点数 (注2)5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点		

(II) 生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	○	60 点
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		
(※)8項目の合計点に応じた点数 (注2)5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点		

(V) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
1事例以上ある場合:10点		

(VI) 経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点
期限内に提出していない場合:-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点
1事例以上ある場合:10点		

(III) 多様な働き方(※)		
①免許・資格取得、検定の受験勧奨に関する制度		15 点
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
小計(注1)	6	点
(※)8項目の合計点に応じた点数 (注1)5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点		

項目	点数			
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点			
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点			
多様な働き方	0点 5点 15点			
支援力向上	0点 5点 15点			
地域連携活動	0点 10点			
経営改善計画	0点 -50点			
利用者の知識・能力向上	0点 10点			
合計				
		150	点	/ 200点

別添

事業所名 就労継続支援A型事業所サスケ工房

R7 年 4 月 11 日

就労継続支援A型事業所におけるスコア表(実績I~IV、VI)

(I) 労働時間					
前年度 (R6 年度)	雇用契約を締結している全ての利用者における延べ労働時間	37,497 時間	雇用契約を締結している延べ利用者数	8,460 人	利用者の1日の平均労働時間数 4.4 時間
(II) 生産活動					
会計期間 (4 月 ~ 3 月)	生産活動収入から経費を除いた額	34,916,656 円	利用者に支払った賃金総額	34,120,703 円	収支 795,953 円
前々年度 (R4 年度)	生産活動収入から経費を除いた額	33,333,351 円	利用者に支払った賃金総額	32,549,353 円	収支 783,998 円
前年度 (R5 年度)	生産活動収入から経費を除いた額	35,484,271 円	利用者に支払った賃金総額	35,249,899 円	収支 234,372 円
(III) 多様な働き方					
前年度における取組(全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載) (R6 年度)					
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	②利用者を職員として登用する制度	③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律			
◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	◎利用者を職員として登用する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>			
④フレックスタイム制に係る労働条件	⑤短時間勤務に係る労働条件	⑥時差出勤制度に係る労働条件			
◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている <input type="checkbox"/>	◎短時間勤務に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/>			
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	⑧傷病休暇等の取得に関する事項				
◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている <input type="checkbox"/>				
(IV) 支援力向上					
前年度における取組(全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載) (R6 年度)					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	②研修、学会等又は学会誌等において発表	③視察・実習の実施又は受け入れ			
◎研修計画を策定している <input checked="" type="checkbox"/>	◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している <input type="checkbox"/> ※研修名 ハラスマント研修 研修講師 目見田講師 実施日・受講者数 5月 15日 10人	◎先進的事業者の視察・実習の実施している もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている <input checked="" type="checkbox"/> ※先進的事業者名 実施日 / 参加者数 月 日 人 ※他の事業所名 サスケ! T サービス株式会社 実施日 / 参加者数 6月 19日 10人			
④販路拡大の商談会等への参加	⑤職員の人事評価制度	⑥ピアソポーターの配置			
◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している <input checked="" type="checkbox"/> ※商談会等名 合同商談会 主催者名 株式会社 白石設計 日時 8月 22日 内容 新規作業開拓	◎職員の人事評価制度を整備している <input checked="" type="checkbox"/> ◎当該人事評価制度を周知している <input checked="" type="checkbox"/> 人事評価制度の制定日 R2年 4月 1日 人事評価制度の対象職員数 12名 うち昇給・昇格を行った者 12名 当該人事評価制度の周知方法 人事制度マニュアル	◎ピアソポーターを配置している <input checked="" type="checkbox"/> ◎当該ピアソポーターは「障害者ピアソポーター研修」を受講している <input checked="" type="checkbox"/> ※配置期間 4月 1日 ~ 3月 31日 就業時間 8:30~17:30 職務内容 相談支援			
⑦第三者評価	⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等				
◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている <input type="checkbox"/> ※評価を受けた日 月 日 第三者評価機関	◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている <input type="checkbox"/> ※認証を受けた日 月 日 規格等の内容				
(VI) 経営改善計画					
◎指定権者である都道府県(指定都市・中核市)へ、経営改善計画書へ提出した。 <input type="checkbox"/>					
※受理日 年 月 日					

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	就労継続支援A型事業所サスケ工房
住 所	愛媛県新居浜市港町2番10号1階
電話番号	0897-37-8525

事業所番号	3810500540
管理者名	植田 康隆
対象年度	R6年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

活動場所 株式会社 白石設計

実施日程 R6.4.1～R7.3.31

実施した生産活動・施設外就労の概要

鉄骨詳細図の画面に書かれている基本的な情報が正確か判断し、修正する作業を行う。

利用者数 13名

<目的>

地元企業の白石設計の事務所の一部を施設外作業場として、全国の鉄骨制作会社や大手ゼネコン、設計事務所などから図面チェックの仕事を白石設計と協力して受注し、企業内の働く場作りの継続を行った。

<成果>

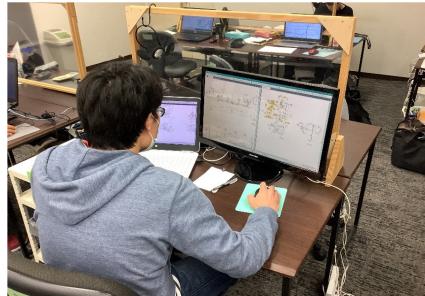
OJTを継続する事で、更なる実践的な技術の向上で一般就労の機会の創出に繋がっている。

今年度もONLINEでの指導を拡充し、情報共有の機会を増やしたこと、作業者間で議論することが出来るようになったことは知識が広がり技量がさらに向上した。

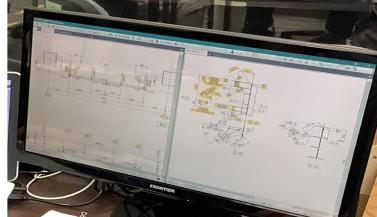
又、労働意欲の向上で就労継続に繋がった。

<活動の様子>

活動の様子の写真



成果物の写真



活動内容の追加コメント

連携先の企業等の意見または評価

個々のレベルに合わせて作業を分担することで全体の効率が上がり、図面作図のスピードアップに繋がっている。

チェックの精度を上げることで、現場での不具合が減少し費用削減に繋がったと取引先から評価を受けている。

個々のレベルが上がり、一チームあたりの仕事量が増え全体出来高も増加している。

今後は、リーダーのコミュニケーションと作業スキルを上げて、徐々に難易度の高い仕事にも挑戦して行きたい。

取引先からの高評価を受け、図面チェックの仕事はもとより、白石設計への業務依頼も増加傾向にある。

チェック作業の更なるスピードアップと、図面作図業務の範囲の拡大を継続して推進して行きたい。

連携先企業名

株式会社 白石設計

担当者名

石川孝雄

就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	就労継続支援A型事業所サスケ工房
住 所	愛媛県新居浜市港町2番10号1階
電話番号	0897-37-8525

事業所番号	3810500540
管理者名	植田 康隆
対象年度	R6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要	
<活動内容>	<活動の様子>
活動場所 サスケ工房内 実施日程 R5.4.1～R6.3.31 連携先企業担当者から働くために必要なスキルについて研修実施、研修を録画して隨時鑑賞出来る体制整備した 利用者数 3名	活動の様子の写真 
<目的>	成果物の写真 
社会ルール・ビジネスマナー・テレワークに求められるスキル等の一般就労に向けた知識・能力向上を目指す。	研修動画 
<成果>	報告書 活動内容の追加コメント
企業の方からの仕事への心構えを話していただくことで、自身の考え方と他の考え方の違いを知り、企業が求めるスキルを認識する。 日々のサスケでの業務に活かし、さらには一般就労への自信に繋げることが出来た。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価	
連携先企業（担当者）	白石設計 三浦

利用者からの意見・評価	
<ul style="list-style-type: none"> 企業が求める人材の条件の一つとして「自己理解」が大切だと気付いた。 サスケ工房にて毎日作業をしていく中で、報連相をしっかりとることを意識して、今後就職した際にも円滑に作業ができるような力を身に着けたい。 勤怠の安定が重視されるため、改めて体調管理の重要性を感じた。 	